



平成24年11月7日

各位

上場会社名 JTトラスト株式会社
 代表者 代表取締役社長 藤澤 信義
 (コード番号 8508)
 問合せ先責任者 取締役 黒田 一紀
 (TEL 03-4330-9100)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年8月9日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,133	6,171	6,569	6,400	103.18
今回修正予想(B)	24,457	7,490	7,483	7,445	120.50
増減額(B-A)	△676	1,319	914	1,044	
増減率(%)	△2.7	21.4	13.9	16.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	10,106	1,957	1,288	30,306	506.56

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	57,702	10,919	12,043	11,437	184.38
今回修正予想(B)	56,070	11,619	12,048	11,564	186.15
増減額(B-A)	△1,631	699	4	126	
増減率(%)	△2.8	6.4	0.0	1.1	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	24,508	5,539	5,486	34,500	575.96

平成25年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,241	76	88	58	0.94
今回修正予想(B)	1,262	4	26	3	0.05
増減額(B-A)	21	△72	△61	△54	
増減率(%)	1.7	△94.8	△69.7	△94.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	1,835	1,003	1,031	596	9.97

平成25年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,337	919	917	890	14.35
今回修正予想(B)	3,258	617	648	859	13.84
増減額(B-A)	△78	△301	△269	△31	
増減率(%)	△2.3	△32.8	△29.3	△3.5	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	3,090	1,192	1,219	683	11.40

(注)当社は、平成24年6月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益及び1株当たり当期純利益につきましては、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し算定しております。

修正の理由

1. 連結業績予想数値の修正について

(1) 第2四半期累計期間

第2四半期(累計)連結業績予想数値につきましては、KCカード株式会社におけるクレジット事業収益や株式会社日本保証が会社分割により承継した更生会社株式会社武富士の消費者金融事業収益が好調に推移していることから、営業収益はほぼ前回予想通りとなり、営業利益、経常利益、四半期純利益につきましては、前回予想を上回る見込みとなりました。

(2) 通期

通期連結業績予想数値につきましては、本日付けで公表いたしました「子会社の業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおりアミューズメント関連事業やレンタル事業での下振れが見込まれることや、平成24年10月から韓国で営業を開始した親愛貯蓄銀行株式会社への初期投資費用などの影響が見込まれますが、一方では、第2四半期累計期間同様、順調な業績推移を見込んでおりますので、表のとおり、営業収益は前回予想を若干下回るものの、営業利益、経常利益、及び当期純利益とも前回予想を上回る見込みとなりました。

2. 個別業績予想数値の修正について

(1) 第2四半期累計期間

第2四半期(累計)個別業績予想数値につきましては、債権買取業務におけるその他の金融収益が減少したものの、受取利息の増加や、連結子会社からの受取配当金によって営業収益はほぼ前回予想通りとなりましたが、株式会社ネクストジャパンホールディングスとの合併及びJTインベストメント株式会社の株式取得に係る費用の増加等を要因として営業費用、販売費及び一般管理費が増加した結果、営業利益、経常利益、及び四半期純利益とも前回予想を下回る見込みとなりました。

(2) 通期

通期個別業績予想数値につきましては、第2四半期累計期間同様、その他の金融収益の減少が見込まれるため、表のとおり、営業収益、営業利益、経常利益、及び当期純利益とも前回予想を下回る見込みとなりました。ただし、当社連結子会社である株式会社日本保証の業績が好調に推移しており、同社からの受取配当金(中間配当)の増加が見込まれることから、営業収益は前回予想に比べ微減にとどまる見込みであり、また、本日付けで公表いたしました「特定子会社の異動(子会社の解散)に関するお知らせ」のとおりJTインベストメント株式会社の清算に伴う清算配当金の増加などの影響を見込んだ結果、当期純利益につきましても前回予想に比べ微減にとどまる見込みです。

※本資料に掲載されている将来に関する記述は、当社及び当社グループが発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。よって、実際の業績は様々な要因につき、記述されている業績予想とは大きく異なる結果となりえることをご承知ください。

以上